

報酬の見直しについて

1 現状と課題

- 平成 13 年 4 月 1 日以降、長期間、報酬の見直しがされていないため、現在、進行している物価高や人件費の上昇といった社会情勢の変化を踏まえた報酬となっていない。
- 平成 13 年度に議員年金が廃止された。
- 議員の担い手が不足している。令和 7 年 9 月に実施した市民アンケートの結果では、「立候補したいと思わない」と答えている割合が 89.1%となっている。その中には、報酬などの待遇面がよくないと考えている回答者が少なからずいた。
- 平成 10 年に 22 名から 20 名に 2 名削減し、平成 14 年に 2 名、平成 18 年に 2 名、平成 22 年に 2 名を削減し、これまでも定数を見直してきた。
- 市民アンケートでは、報酬の見直しにおいては財政状況を基準に考慮すべきとの意見が多くあった。報酬の見直しに当たり、議会では令和 7 年第 4 回定例会において議員定数を 2 名削減することを決定したことにより、議員報酬の歳出の総額については 1,200 万円程度の削減ができている。
- 他市の状況は、呉市、福山市、三次市、大竹市、安芸高田市の 5 市で報酬の見直しを検討しており、庄原市、廿日市市の 2 市で報酬が引き上げられている。また、坂町、海田町、安芸太田町の 3 町で報酬が引き上げられている。

2 増額の目安

(単位：円)

算定方法	月額報酬	年額報酬※ ¹	歳出※ ²	説明
現 行	355,000	6,158,362	86,217,068	
① 定数削減に基づく算定	385,000 (30,000) (8.45%)	6,678,787 (520,425)	80,145,444 (▲6,071,624)	定数減の1名分を原資として算定した。
② 職員給与との比較に基づく算定	392,000 (37,000) (10.4%)	6,800,220 (641,858)	81,602,640 (▲4,614,428)	H20とR7の6級16号及び17号とを比較して算定した。
③ 地域手当加算に基づく算定	369,000 (14,200) (4.0%)	6,401,227 (242,865)	76,814,724 (▲9,402,344)	現行の月額報酬に地域手当4%を加算して算定した。
④ 物価上昇に基づく算定	397,000 (42,000) (11.8%)	6,886,957 (728,595)	82,643,484 (▲3,573,584)	H13とR6の消費者物価指数を比較して算定した。
⑤ 他市議会を参考にした算定	380,000 (25,000) (7.0%)	6,592,050 (433,688)	79,104,600 (▲7,112,468)	庄原市議会における2.5万円増の例を基に算定した。

※1 年額報酬については、期末手当を4.65月分で加算率を15%として算定した。

※2 歳出については、議員定数を現行は14名、その他は12名で算定した。

※3 月額報酬の欄の中段かっこ書きは増加額、下段かっこ書きは増加率です。

※4 年額報酬の欄のかっこ書きは増加額です。

※5 歳出の欄のかっこ書きは削減額です。